



みんなの未来のために

今できることってなんだろう？



©東京ハイジ/二宮町

～豊かな未来をつくるために、今できることから始めよう！～

私たちの身の回りにあふれている、プラスチック製品。

プラスチックは、あらゆる形に姿を変えられるだけでなく、軽くて丈夫であることから、私たちの生活に欠かすことのできない存在です。



日本における人口一人当たりの容器包装プラスチック（カップ麺の容器やお菓子の袋などのプラスチック素材でできた容器や包装）ごみの量は、アメリカに次いで世界第2位となっていて、私たちはプラスチックに頼り過ぎた生活をしていることがわかります。



《海の中はプラごみがいっぱい》

そこで、人類によるプラスチックの不適正な処分を原因とする「海洋汚染」が問題となっていることを知っていますか。

陸から海に流出したプラスチックごみの量を国別に見ると、中国（353万t/年）やインドネシア（129万t/年）などといった東・東南アジアの国々が上位を占めている中、日本は世界第30位（6万t/年）と突出してはいないものの、それでも6万トンものプラスチックを海に流出させてしまっているわけです。[参考：H30年環境省資料(2010年の推計値)]

これらの問題は、SDGsの「12 つくる責任 つかう責任」や「14 海の豊かさを守ろう」にも位置付けられていますが、問題の解決に向けて、私たちにできることは何でしょうか。



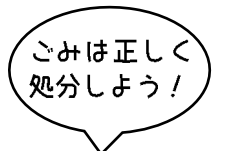
例えば、プラスチックごみを海に流出させないよう、「ごみをポイ捨てしないこと」はもちろん、「ごみ出しの時にはカラスネットを正しくかぶせること」や「ごみが落ちていたら拾うこと」のほか、そもそもプラスチックを使い過ぎないことも大切です。

プラスチック消費大国である日本では、レジ袋を有料化したり、紙製のストローが導入され始めるなど、プラスチックの削減に向けたさまざまな取り組みが始まっています。

また、この夏、二宮町では学校や公共施設に給水スポットを設置しましたが、マイボトルを持ち歩くことは、ペットボトルなどのごみ削減に大きな効果をもたらします。

これから高校生や大人になっても、今と同じようにマイボトルを持ち歩きながら、プラスチックに頼り過ぎない生活を心がけてみてください。

みんなの未来がずっと豊かな環境のままであり続けられるよう、一人ひとりが自分にできることをチャレンジしていきましょう。



町ホームページ